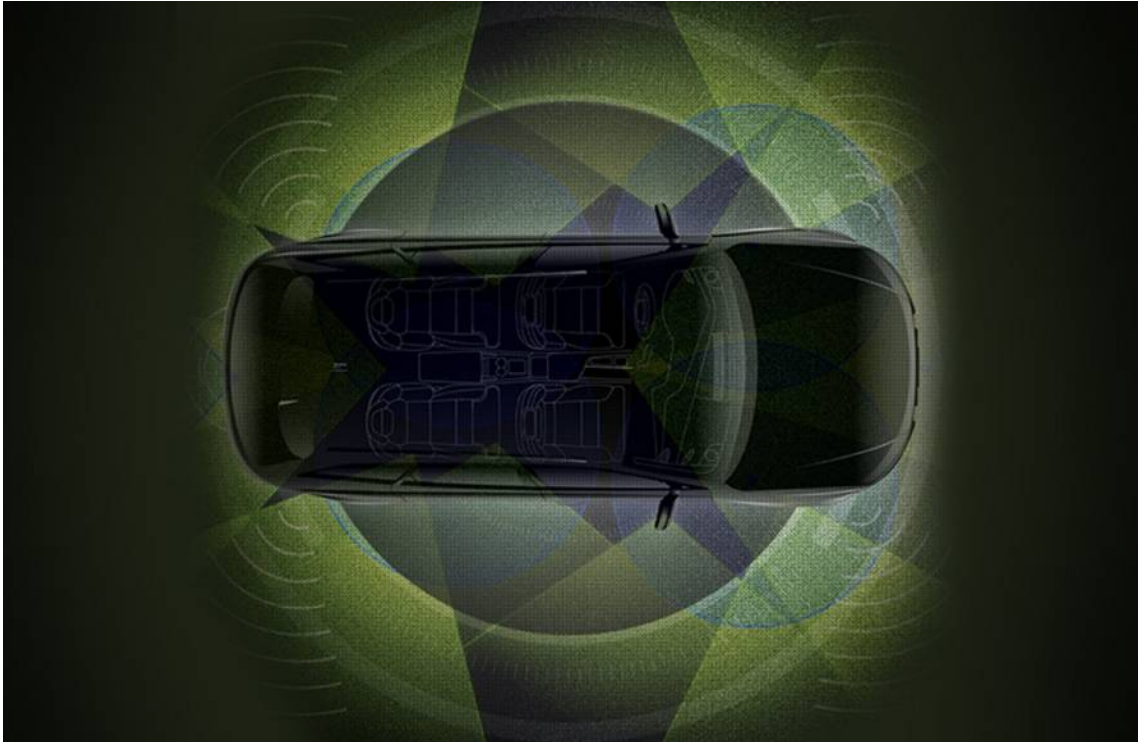


Ouster と NVIDIA が自律走行の商用車両を市場に投入

Raffi Mardirosian



弊社のセンサーは、[LAの歩道](#)から[DAPRA（米国防高等研究計画局）のロボットコンテスト「地下チャレンジ」のトンネル](#)まで、いたるところでご覧いただけるようになりました。そして、今や、非常に多くの自律走行の商用車両に搭載されることになりました。NVIDIA は、[NVIDIA ドライブプラットフォーム](#)を利用する自律走行商用車両に弊社のセンサーを使用しています。これには、公共交通機関、運輸、ごみ／リサイクル収集、建設、鉱業運搬用の車両が含まれます。

NVIDIA ドライブプラットフォームは、レベル 3 からレベル 5 までの自律走行システムに、Ouster ライダーセンサーが組み込まれています。世界的な大手の OEM 企業は、2022 年の製品化を目標に目下開発を進めています。ライダー知覚システム（lidar perception system）は、高解像 [OS2](#) ライダーに基づき、NVIDIA ドライブ AGX プラットフォームで稼働し、フルスタックな 360° センサー処理が可能であり、マッピング、経路計画にも対応できるソフトウェアです。

「自律走行商用車両は、世界でいくつかの最も厳しい環境下でも、耐えられるものでなくてはならない」と語るのは弊社 CEO の Angus Pacala です。「OS2 の信頼性と解像度は、最高水準の信頼性を要求とする NVIDIA の OEM パートナーにとって、明白な選択肢であることを示すことができました」

自律走行システムにとって、弊社の[構造化ライダーデータ](#)は、NVIDIA 製 GPU のようなベクトルプロセッサを使用した場合、従来の非構造化ライダーデータに対して、100 倍以上の入力処理速度増加が期待できます。これにより、自律走行システムに対して、より高速なオブジェクト認識と、より低い電力要件の実現が可能となります。

「Ouster センサーはライダーの知覚能力に関して、その解像度、価格、信頼性の点で大変優れたソリューションである」と、NVIDIA 自動車ハードウェア&システムズ SVP の Gary Hicok は語ります。「信頼性のある 360° センサーを NVIDIA のソフトウェアフルスタックに統合することは、自律走行車両の商品化に非常に重要なことです」

我々 Ouster 社は、今後の数年に亘る NVIDIA との提携で、柔軟で、拡張可能な自律走行システムの新しい開発を行い、商業的な OEM パートナーと信頼性および安全性の要求に応えられることを楽しみにしています。